

二〇二〇年度法科大学院入学試験問題

小論文

注意事項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答主用紙は一枚だけ配付します。
- III 解答にあたっては、黒ボールペン・黒インクのペンのいずれかを使用してください（ただし、インクがプラスチック消しゴムで消せないものに限ります）。それ以外で解答主用紙に記入した場合は、無効とします。また、解答主用紙欄外へ記入されているものは採点の対象としません。
- IV 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、一行の場合には横線で消して、その次のマス目から書き直してください。（余白には書かないで下さい。）修正液・修正テープを使用してはいけません。
- V 解答は横書きで記入してください。
- VI 試験時間は六〇分です。
- VII 問題は六ページで一問です。

問題 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作物の関係上、本文については、ホームページ上での公開および印刷物での配布は行っておりません。

(出典)

〔坂井豊貴「多数決を疑うー社会的選択理論とは何か」(岩波新書、二〇一五年)より〕

〔問〕 「多数決」により意思を決定したり、代表者を選出することの問題点を指摘した上で、それでもなお「多数決」によるべき理由を八〇〇字以内で説明しなさい。